



トステム株式会社

リビング建材  
グランドライン クラシック/モダン

# 玄関収納〈ベースキャビネット〉取付け説明書

●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

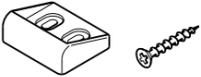
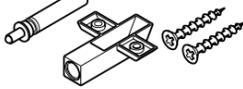
## ▲注意

- キャビネットが転倒してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の栈木を設置してください。
  - ・栈木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
  - ・栈木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18mm以上の合板を使用してください。(厚さ12mmの合板では吊下げ強度がたりません。)
  - ・栈木は石こうボードの表側には取付けないでください。
  - ・必ず栈木の中央又は厚さ18mm以上の合板に固定してください。
  - ・必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×60を指定の本数使用してください。
- 扉の吊込みの際は、扉の丁番カップをキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因になります。

## ■取付け上のお願

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障が出るおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付ドライバーの弱で締めてください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 発熱灯付近には取付けないでください。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- 接着剤は、同梱のものをお使いください。

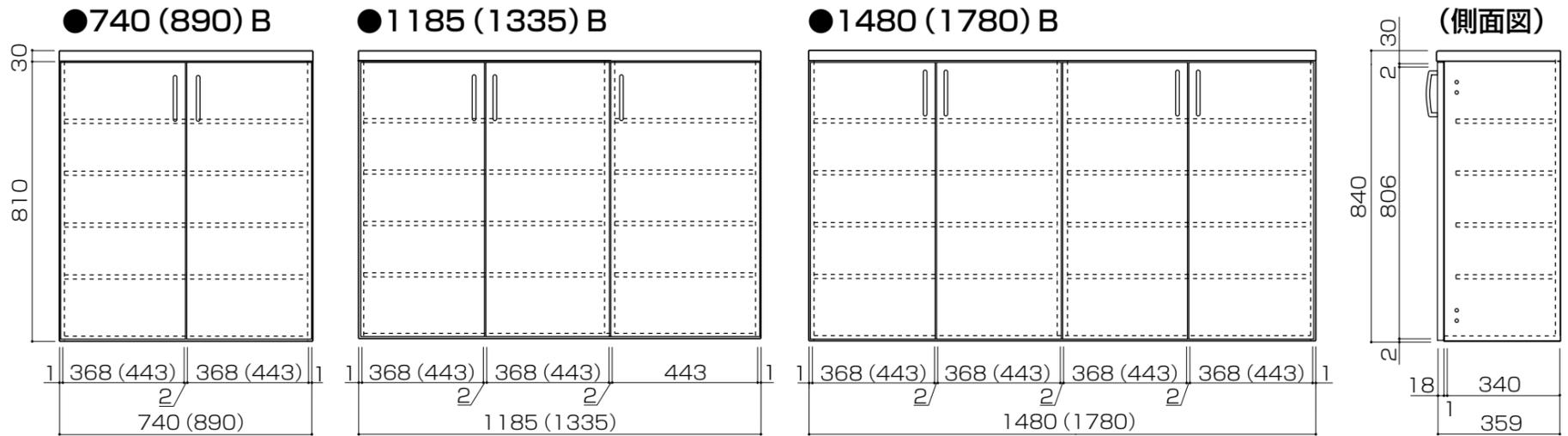
## ■部材一覧表

	部材名	数量			
		740B (890B)	1185B (1335B)	1480B (1780B)	
キャビネット 部材	①側板	2	2	2	
	②中仕切	1	1	1	
	③カウンター	1	1	1※別梱	
	④地板	1	1	1	
	⑤背板	1	1	2	
	⑥棚板/W413	-	4	-	
	棚板/W708	4	4	8	
	棚板/W858	(4)	(4)	(8)	
	棚ダボ		16	32	32
	キャビネット連結 中仕切固定ねじ φ3.5×27(黒)		10	13	13
躯体取付けねじ φ3.8×60		3	5	5	
接着剤		1	1	1	
キャビネット 部品	アーチ型把手セット (把手/トラス小ねじ M4×25)		2	2	3
	丁番座		4	6	8
	丁番カップ		4	6	8
	戸当り 取付けねじφ3.5×16 (ゴールド/ブロンズ)		1	1	2
	穴かくしキャップ		-	4	-
	丁番カップ固定ねじ φ4×16		8	12	16
	ショックアブソーバーセット (アダプター取付けねじ)		2	3	4
扉 部材	扉/左吊元	2枚入り/1梱包	1	1	2
	扉/右吊元		1	1	2
	扉/左右兼用	1枚入り/1梱包	-	1	-

## ■寸法図

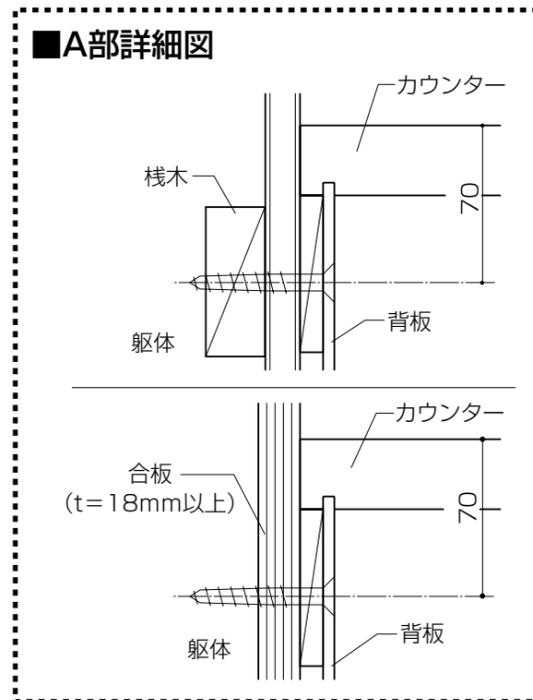
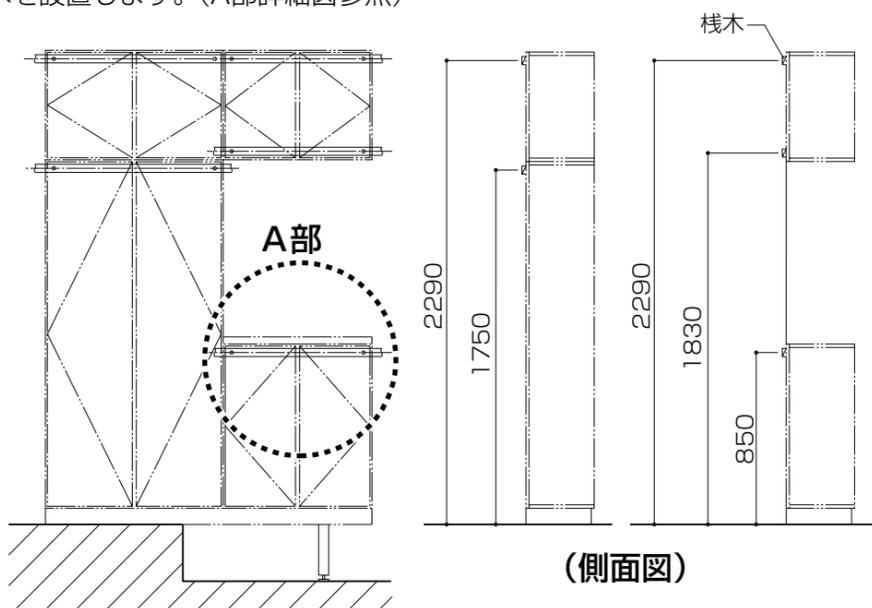
※左右勝手は、組立て後に天地を逆にするにより選択できます。

※扉は両開き用扉（左右吊元／各1枚）と、左右兼用扉（把手穴のあいていない扉／1枚）があります。左右兼用扉の把手穴は貫通していませんが、裏面から上下2カ所に道穴が加工してあります。左右勝手を確認の上、把手穴を貫通して組立えます。詳細は、「**4**扉の取付け」をご覧ください。



## ■据付け前の準備

●据付け場所と上がり框の位置および、収納セットの左右勝手を確認し、所定の壁面（躯体）に栈木を設置します。（A部詳細図参照）



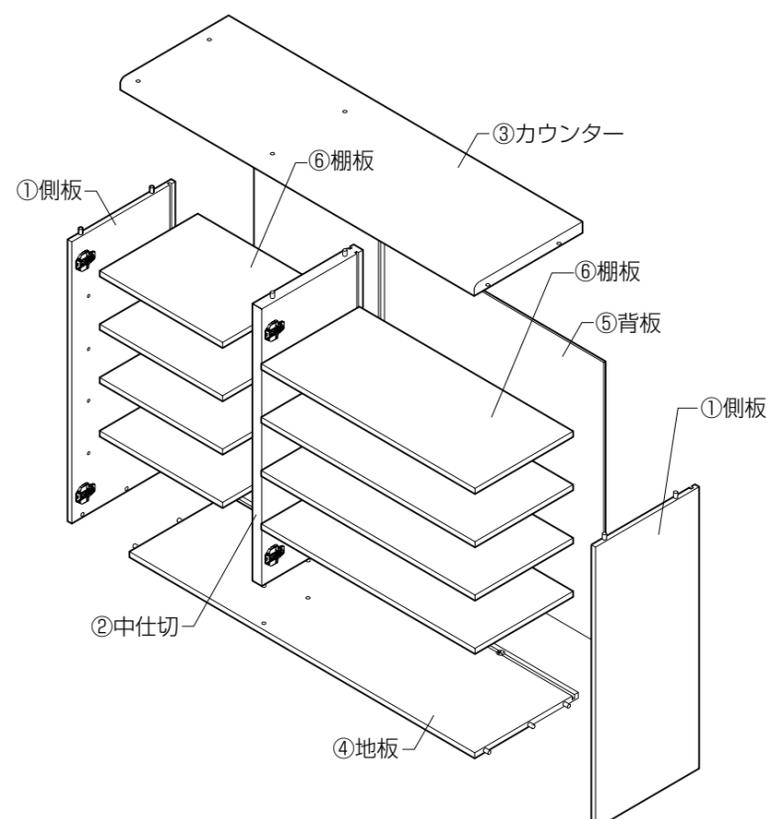
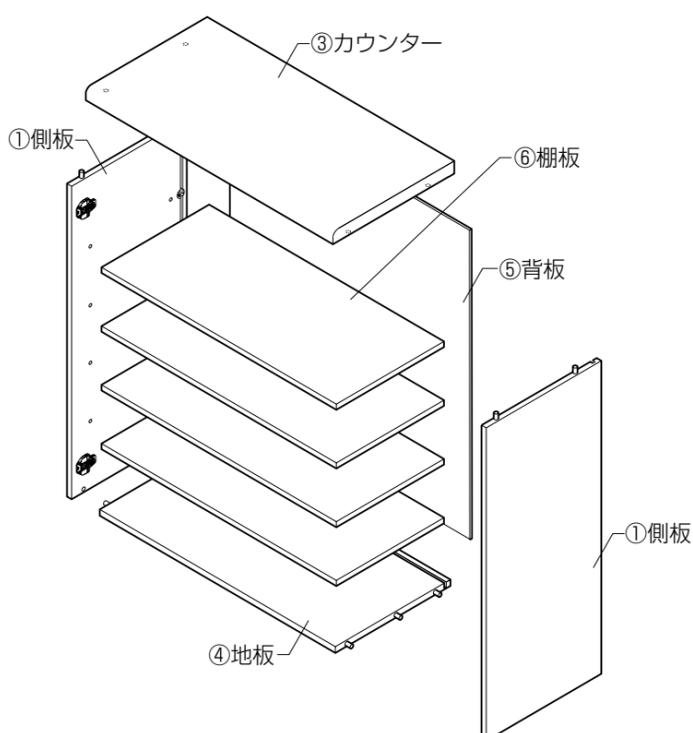
### ▲注意

- 必ず栈木を設置してください。転倒のおそれがあります。
- 栈木は厚さ24mm×60mm以上の硬木を使用してください。
- 合板は必ず、厚さ18mm以上の物を使用してください。

## ■各部名称

●740B・890B

●1185B・1335B・1480B・1780B



## ■組立て順序

※左右勝手は、組立て時の中仕切の取付け位置（丁番座の取付け位置）により選択できます。（1185B・1335B）

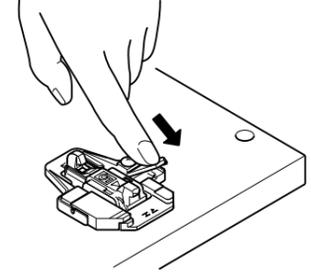
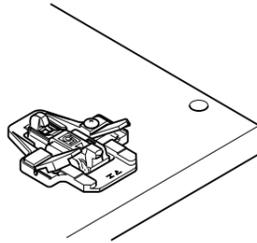
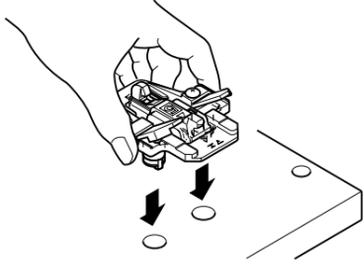
※部材はキャビネット内側がグレー、外側が木目です。

※本組立ては1185B・1335B・1480B・1780Bを示し、740B・890Bには中仕切は付きません。

①側板・中仕切に丁番座を取付けます。

●丁番座を側板（中仕切）の加工穴に差込みます。

●黒レバーをおろして丁番座を固定します。

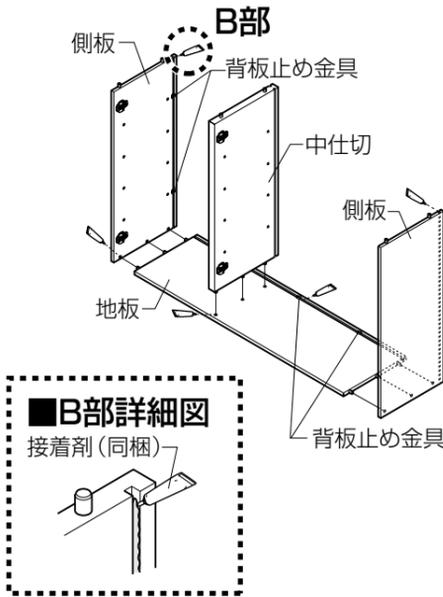


②観音開き側に丁番を向け、中仕切および、両側板を地板にはめ込みます。

③背板を差込み、地板の背板止め金具を締めます。

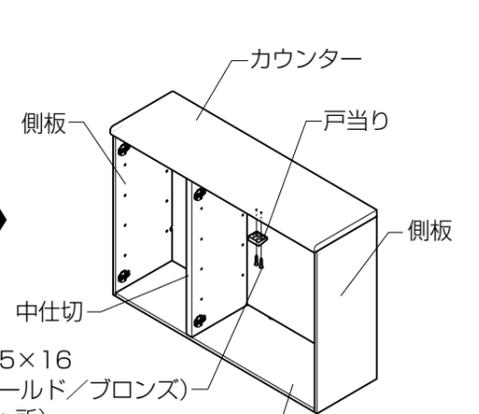
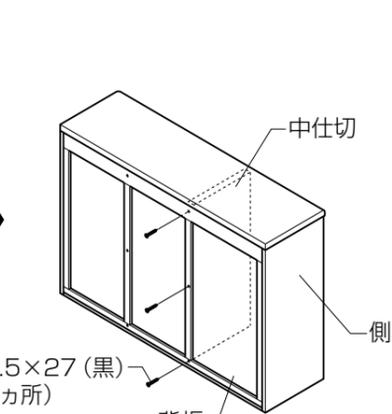
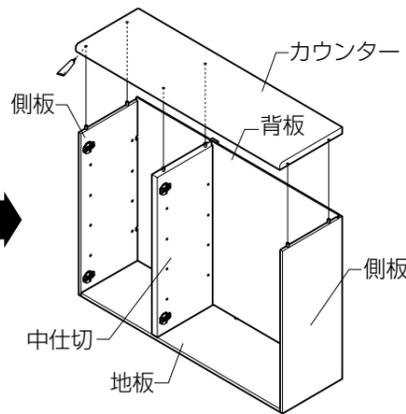
⑥背板側から中仕切をねじ止めします。

⑦戸当りをねじ止めします。  
※740Bと890Bはカウンターの中央に取付けます。



④カウンターをはめ込みます。  
⑤キャビネットの垂直を確認した後、両側板の背板止め金具を締めます。

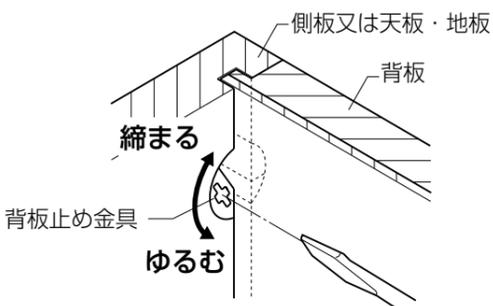
（1480B・1780Bを除く）



●お願い  
●接合部には必ず接着剤を充てんしてください。

### ■背板止め金具の締め方

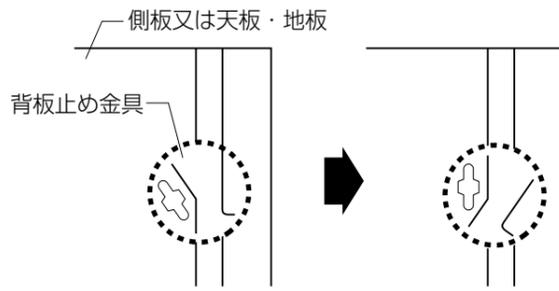
※マイナスドライバーで、右回りに締め付けます。



### 【組立て前】

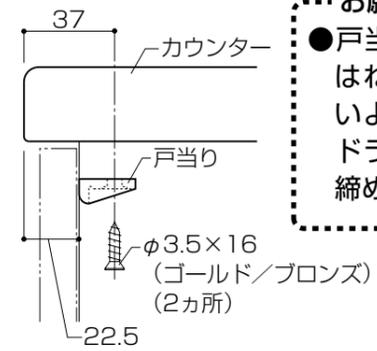
### 【組立て時】

※この状態で背板を組込んでください。



### ■戸当たり取付け位置

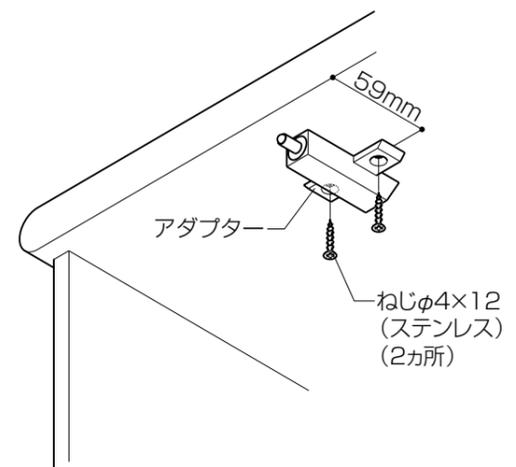
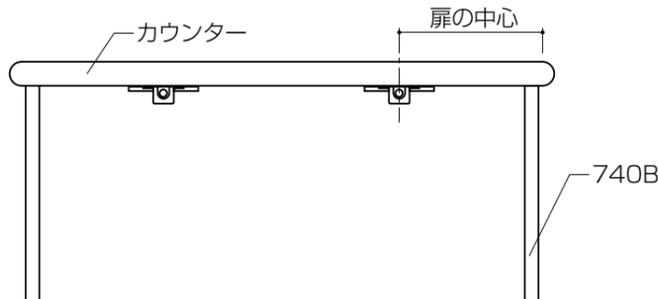
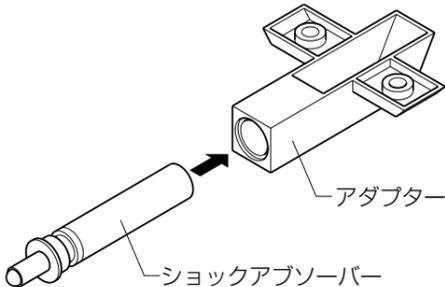
●お願い  
●戸当りを取付ける際はねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱でお締めください。



⑧ショックアブソーバーを取付けます。

●アダプターにショックアブソーバーを差込みます。

●ショックアブソーバーが扉の中心になるようにします。（下記の寸法位置に下穴（φ3）があります。）



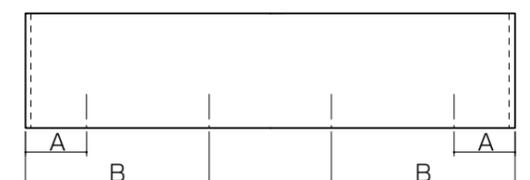
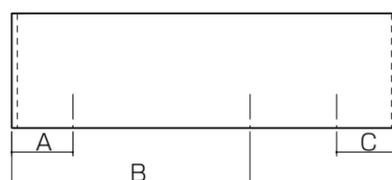
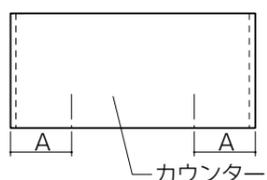
### ■ショックアブソーバー取付け用下穴位置

サイズ	A	B	C
740B	185	-	-
890B	222.5	-	-
1185B (445右吊り)	222.5	555	222.5
1185B (445左吊り)	222.5	630	222.5
1335B	222.5	667.5	222.5
1480B	185	555	-
1780B	222.5	667.5	-

●740B・890B

●1185B・1335B

●1480B・1780B

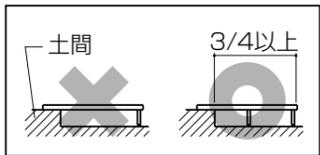


●お願い  
●アダプターを取付ける際はねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱で締めてください。

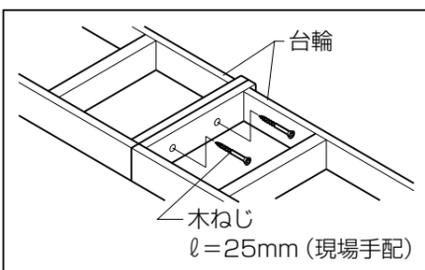
## ■取付け順序

### 1 台輪の設置

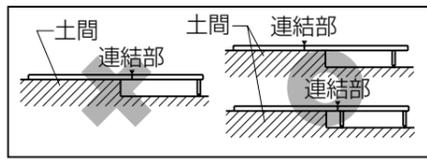
- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10mm以上浮かせてください。
- ※1335以上の台輪を使用し、土間に2/3以上かかる場合は、追加脚セット(2本入り)(別売品)を使用し、足を4本設置してください。



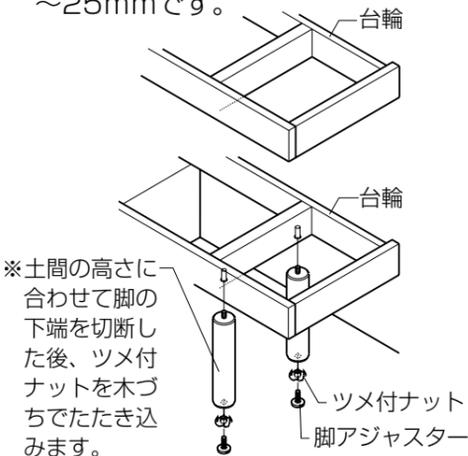
- ※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじ(ℓ=25mm)で連結してください。



- ※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し、市販のボルト・ナットでガタツキがないよう、台輪を連結してください。



- ※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
- ※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。



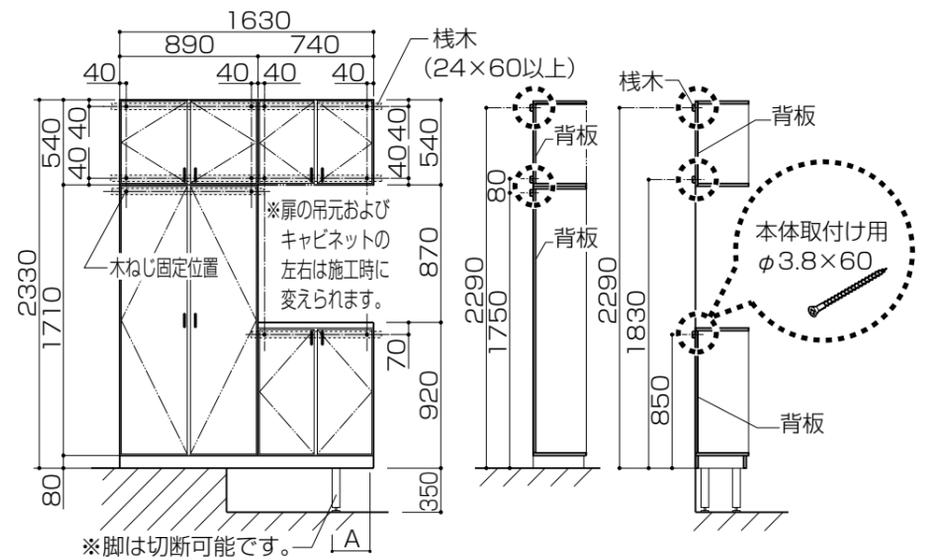
- ※土間の高さに合わせて脚の下端を切断した後、ツメ付ナットを木づちでたたき込みます。

### 2 壁面への固定

- ※水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら本体取付け用ねじφ3.8×60で壁面(桧木)に固定してください。

#### ▲注意

- 取付けねじは、必ず桧木の中央又は18mm以上の合板に固定してください。転倒のおそれがあります。



#### ●脚の取付け位置一覧

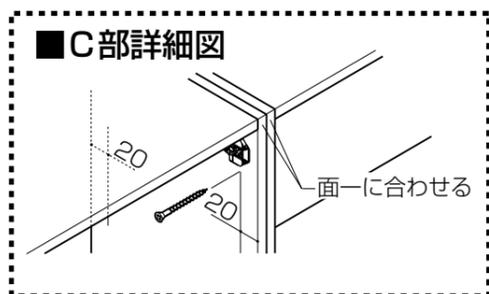
	445	740	890	1185	1335	1480	1630	1780
A	45	45	45	240	45	45	45	240

※A寸法は脚の取付け位置を示します。

### 3 台輪への固定

#### 【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板全面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。

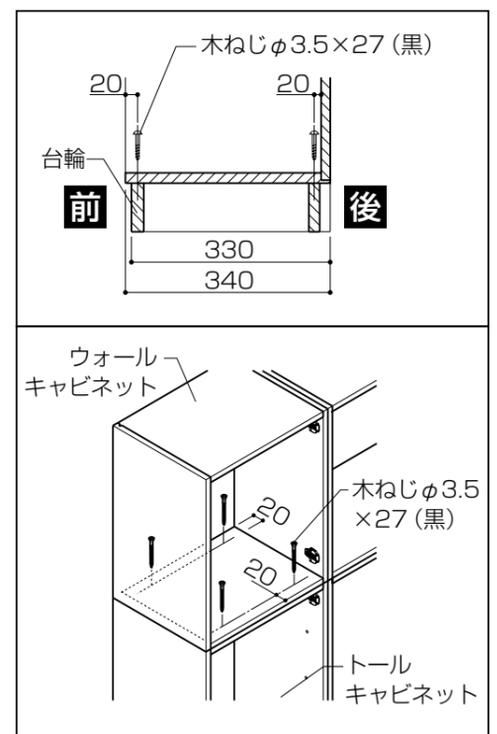
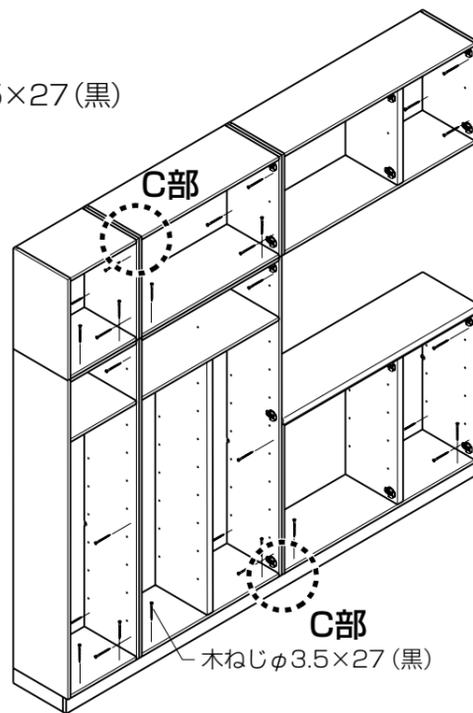


#### 【台輪+各キャビネット連結】

- キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×27(黒)で連結します。
- ※この場合、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

#### 【ウォールキャビネット+トールキャビネット連結】

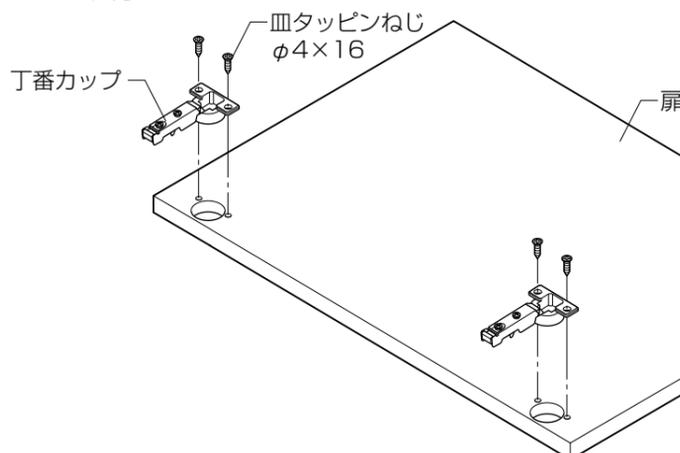
- ※ウォールキャビネットの取付け説明書に従ってください。



### 4 扉の取付け

#### ① 丁番カップの取付け

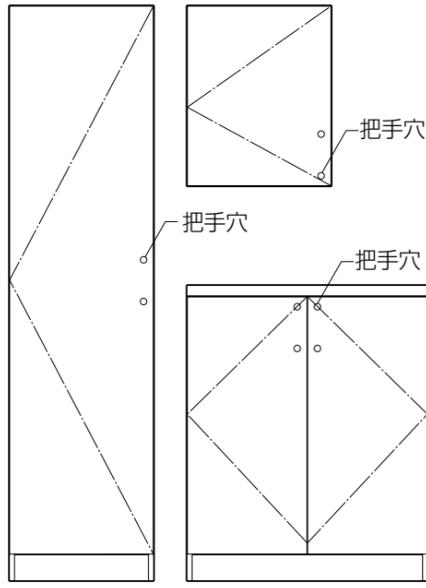
- 扉に丁番カップを同梱のねじで取付けます。



- お願い
- 丁番カップを取付ける際は、ねじを空転させないようにクラッチ付ドライバーの弱でお締めください。

②扉の左右勝手の確認

- ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手が上になります。
- トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



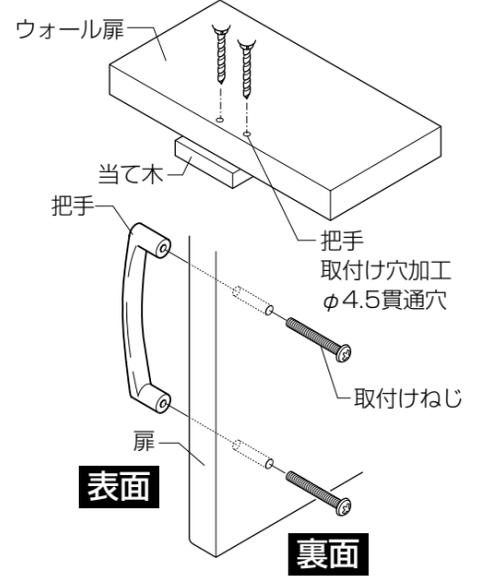
③把手取付け穴加工

- ※445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。
- ※把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

**お願い**  
●当て木をしないで穴を開けると、フィルムがめくれる原因となります。

④把手の取付け

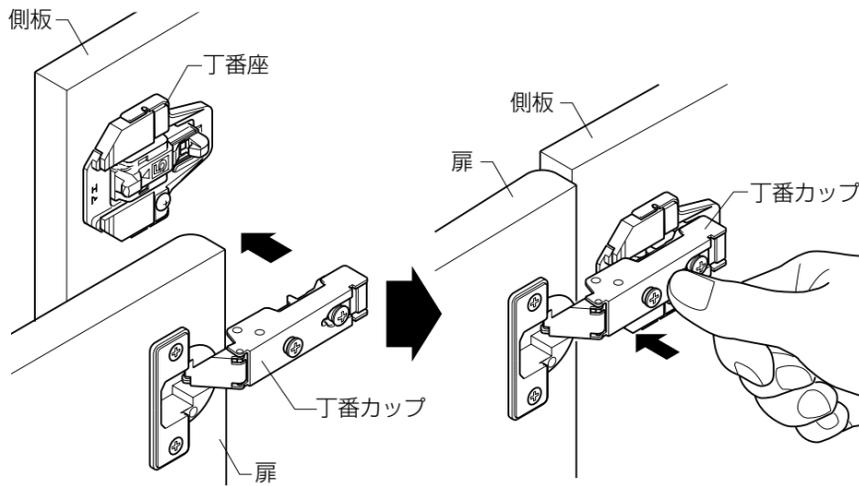
- ※把手セットはキャビネットに同梱されています。



⑤-1.扉の取付け方

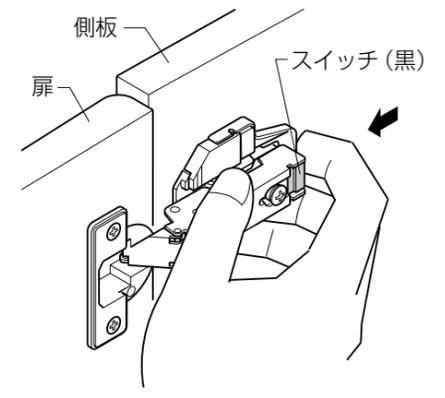
**注意**  
●扉を本体に取付ける際は、扉の丁番カップを「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

- ※扉の吊込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちっと取付けられているか必ず確認してください。



⑤-2.扉の外し方

- 扉を外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。



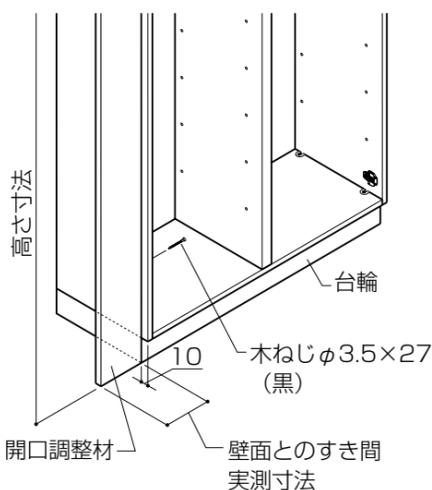
■扉の調整

前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲 (3mm: 前方2mm・後方1mm)	調整範囲 (±2mm)	調整範囲 (±1.5mm)

■オプション部品の取付け

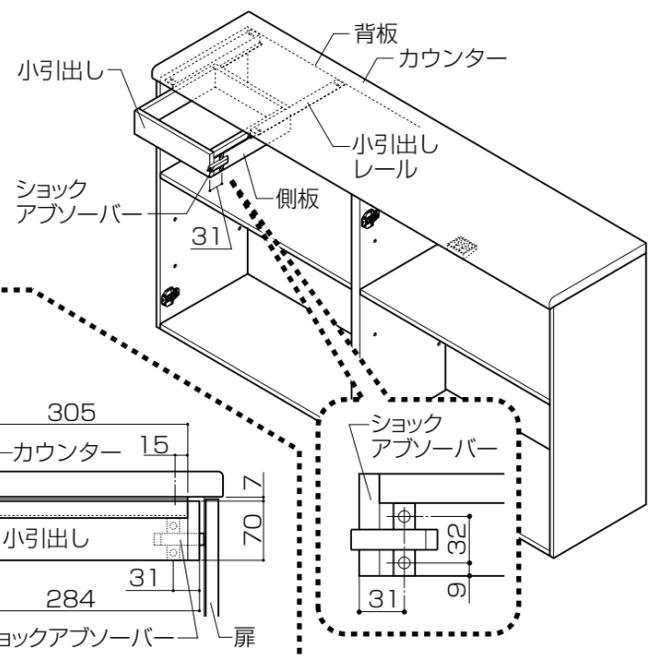
■開口調整材

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。
- ②台輪と面一に合わせて取付けます。



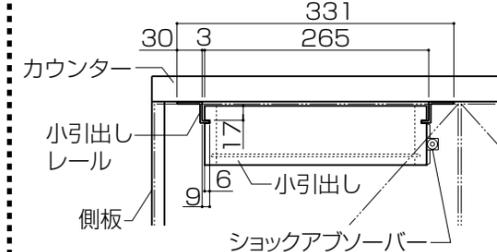
■小引出し

- ①カウンター裏面のお好きな位置に付属のねじで取付けます。
- ②レールの後部が背板に付くように取付けてください。※小引出しを取付けた場合は、ショックアブソーバーを通常的位置に取付けることができません。ショックアブソーバーは、小引出し側板に取付けてください。



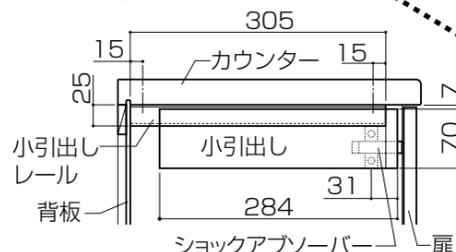
■小引出し取付け詳細

●正面図



※ショックアブソーバーは、扉の戸先側の引出し側板に取付けてください。

●側面図



※小引出し前板の面より31mmの位置に、固定ねじの中心がくるように、ショックアブソーバーを取付けてください。